



サーフィンで、広がる笑顔!

7/9

豊田小学校 サーフィン体験会

豊田小学校の6年生を対象に、日本サーフィン連盟と千葉県主催のサーフィン体験会が開催されました。これは、東京2020オリンピックを契機にサーフィンへの理解および、競技の普及促進を目的に毎年県内の小学校で行っているもの。

当日は、プロサーファーたちの指導の下、パドルリングやテイクオフなどサーフィンの基本的な動きを体験。初めてサーフボードに触れる児童も多く、楽しみながら挑戦しました。最後には男女対抗のパドルリレーも行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▲サーフィンの基本、パドルリング!



▲魚地 龍平さん(写真右)と市原 淳市長(写真左)

野球が結ぶ、国境を越えた絆

7/13

JICA海外協力隊派遣に伴う表敬訪問

茂原市出身の魚地 龍平さんが、JICA海外協力隊2026年度1次隊の隊員として、ウガンダ共和国で活動するにあたり、市長を表敬訪問しました。

派遣先では、野球の基礎技術指導に加え、トレーニングやケガ予防の指導を行い、現地の人たちと協力しながら野球を継続できる仕組みづくりを進めます。

魚地さんは、野球を通じて身につけた、あいさつや時間を守ること、仲間を思いやる姿勢など、自身が大切にしている価値観を伝えたいという熱い思いを胸に、2年間活動します。茂原からウガンダへ、未来につながる一步を届けます。

ボッチャでつなぐ交流の輪

7/23

第1回 ほのおかボッチャ大会

本納公民館にて、「第1回ほのおかボッチャ大会」が開催されました。本大会は、豊岡地区社会福祉協議会のボッチャグループおよび茂原市ほんのう包括支援センターの本納体爽教室のグループそれぞれの会員が、2人1組のチームとなり、トーナメント戦を行ったものです。

参加者たちは、誰でも楽しむことができるボッチャを通じて、新たな人間関係の構築や社会参加をする機会ができ、親睦を深めました。



▲狙いを定めてさあ一投!



▲天然ガスについてのクイズに挑戦!

茂原のすごいを発見!

8/6

親子でわくわく工場見学ツアー

市では、「世界に誇る技術」を持った産業が市内にあることを知ってもらうため、親子で参加できる工場見学ツアーを実施し、市内の小学校4~6年生と保護者あわせて20人が参加しました。

見学先の関東天然瓦斯開発株式会社では、実際にガスが川から湧き出ている様子を見学。茂原の大地からガスが生まれていることを実感しました。沢井製薬株式会社では、医薬品の製造工程や品質管理について学びました。

親子で「見て、聞いて、考える」ことで、地域産業や仕事への理解を深め、茂原の魅力を再発見する良い機会となりました。